

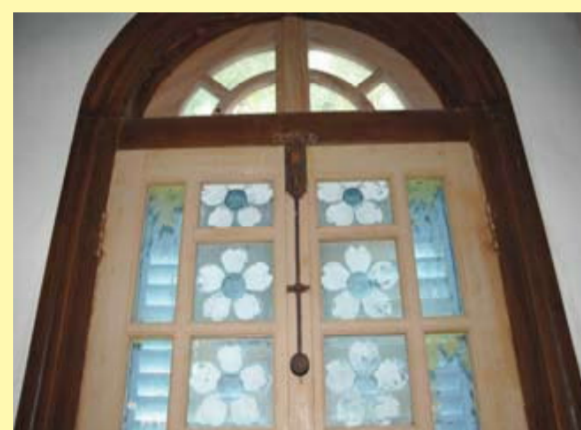


わあ♪

上空から江上天主堂を観察してみましょう!!
周囲を小高い木々に囲まれています。まるで、おとぎ話に出てきそうな雰囲気がありますね♪



教会の内部は、曲線を取り入れたリブ・ヴォールト天井が広がります! (こうもり天井とも呼ばれます。)日本の職人により西洋の様式が取り入れられました。その指導と設計は、鉄川与助さん(現在の新上五島町出身)によるものです!



江上天主堂のステンドグラスの様子は、職人さんではなく、地域の方々がひとつひとつ手描きされたものだそうです。思いがこめられていますね!!

◇紹介◇



立派な飾りが彫られた柱、よく見てみると…実は、木目は描かれたものです! 全体の統一感を高める効果もあります! 外海の出津教会堂にもあったね!!

江上天主堂

じゅうようぶんかざい
重要文化財



江上天主堂は、1918年(大正7年)、五島市の奈留島に建てられました。左右対称のシンプルな外観と白と青の色合いが特ちょう的で、木造教会の完成形として評価されています。100年近く、大切な教会として地域の方々に守られてきました。

ボランティアの方々による清掃活動

会いにきてね!
これからの世界遺産に!

世界遺産ニュース

No.16

平成 26年 2月



長崎の教会群を世界遺産へ

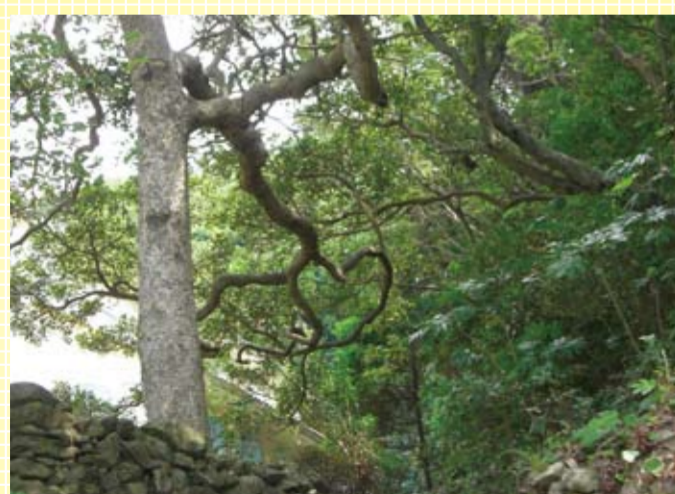
発行
ながさきけんきょういっしんかい
長崎県教育委員会

世界遺産登録を目指す、県内の構成資産を紹介! 第5回「江上天主堂」



めいろん
案内担当の美龍です!

☆見つけてね☆



ここは、天主堂の近くの森で見つけたちょっと面白い場所。あるかたがかくれていることに気づいたかな♪

☆「世界遺産ニュース」について☆
これまで発行した第1号~第15号は、長崎県教育委員会の学芸文化課のホームページをご覧ください!!

☆工夫☆



「水路」(水の通り道)

この水路は、水をひくためではなく、天主堂の周りのわき水を川へと流し、雨が降った後の水はけを良くするための工夫です。この水路をはじめ、天主堂と同じ頃に造られた石垣や石段も当時のままの状態で見ることができます。3つとも重要文化財に指定されています!

☆注目☆

右上の天主堂の写真で気がついたかな?!



実は、地面から建物が持ち上げられています。

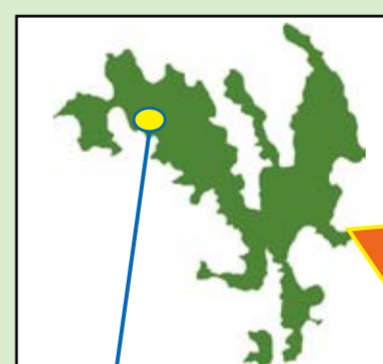
あれ? 浮かんでいるみたい♪



床下の写真

江上天主堂は、森に囲まれ、海にも近い所にあります。そのため、なるべく「湿気」がこもらないように、床を約80cm高くし、風を通す造りになっています!

奈留島の地図

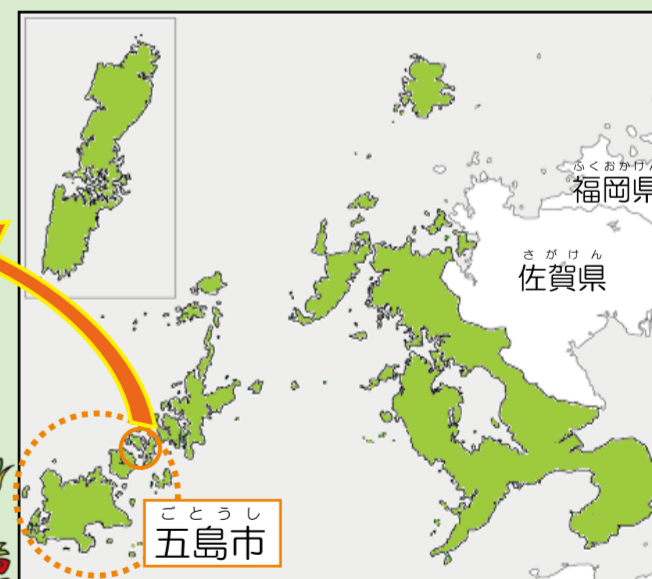


江上天主堂

奈留島の風景



長崎県の地図



奈留島は五島列島の中央にあります。当時の人々は、キビナゴ漁によって天主堂建設のための資金を集めました。